

ものづくりの原点がある②

# いっしょに 未来をつくらう。

若野貴信 (28歳)

## ❓ 入社の経緯は？

名字からお判りいただけると思いますが、社長の息子です。何年後になるかわかりませんが、この会社を経営することになると思います。

入社までの経緯については、大学を卒業後3年間、他の鋳造メーカーで働いてきました。そこでは製造部のスタッフとして、品質や原価改善をテーマに仕事をし、鋳造工程全般について学ばせていただきました。

## ❓ 今の仕事は？

当社に入社してから1年2か月。鋳型をつくる「造形」工程を半年経験。今は「解枠」の工程を担当しています。

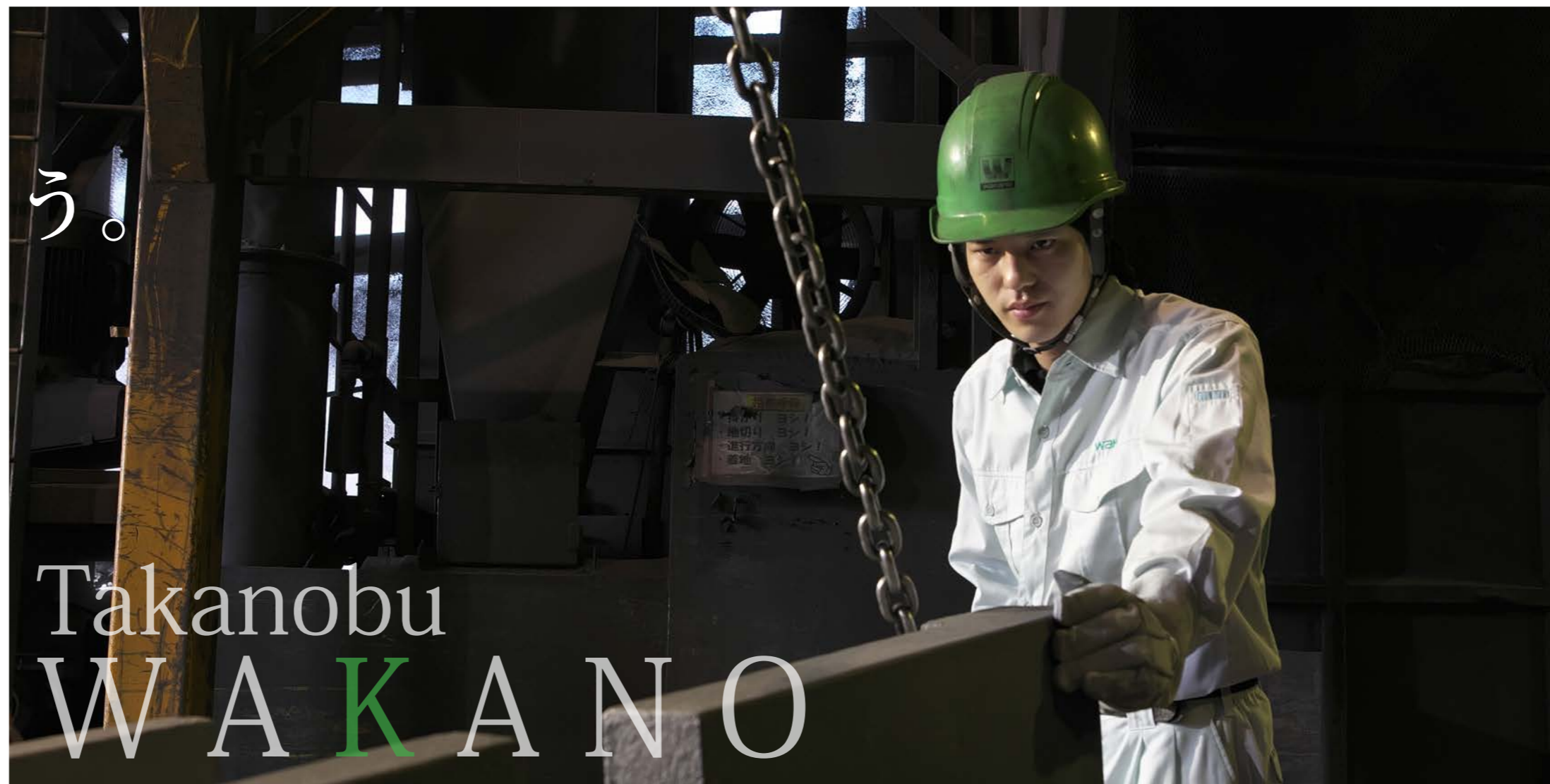
「解枠」とは、鋳型の中に鉄を流し込み、冷えて固まったところを見計らって砂型を崩し、その中から製品を取り出す工程のこと。鉄を流し込んだ数メートルの大きさの砂型

をシェーカーに乗せ、振動を与えて砂を崩します。大きいものだと何トンもの重さになる。チェーンブロックで持ち上げ、方向を変え回転させながら砂を落とします。砂が崩れ、中からまだ熱をもって熱い製品が出てきます。

砂の中から製品が姿を現すのを目にするときには、ワクワクと胸が高鳴ります。ものづくりの醍醐味を実感する瞬間です。

## ❓ 若野鋳造所の強みは？

ひとつ目は、小さなものから大きなものまで一品一品カスタムメイドできること。小さなものと言っても数百キロの重さ



があるのですが(笑) 以前勤務していた会社は、規格品の量産が得意でした。それに比べ当社は、カスタムメイドがメイン。お客様によって異なる多様なニーズに応えていけるところが強みです。

二つ目は、複雑な形状の製品づくりに強いところ。鋳型づくりや鋳込み方法など、いろんなノウハウを積み重ねています。

## ❓ 職場の雰囲気は？

チームワークがいい。風通しがいい。若い人が多い。チームワークと風通しがいいのは、カスタムメイドがメインの会社だから。というのは、鉄を溶かす部門(製品によって成分を調整する必要あり)、砂型を作る部門、溶けた鉄を注ぎ込む部門・・・これらが「あうん」の呼吸でタイミングを合わせ、いっせいに動いていかなければいいモノ作りはできません。

カスタムメイドの仕事には、何よりもチームプレーが大事。声をかけ合いながらみんなで一致団結して作る。そのためにはチームワークが大事なんです。



## ❓ これからどんな仕事を？どんな会社に？

すべての現場を経験し、仕事をすべてマスターしたいと思います。その中で社員の方々と話し合いながら、改善課題を見つけていきたいと思っています。

例えば設備。いま担当している解枠の現場でも、もっと機械化を進めることで生産性を上げることができると思います。あるいは職場環境や安全衛生面など、いろんな課題を見つけ解決しながら、働きやすい会社にしていきたい。社員の人たち、若い人たちと一緒に、ものづくりのワクワクする面白さを実感できる会社にしていきたいと考えています。